

猿橋  
小学校

# 瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

## 「準備」のとき

校長 磯部 裕之

2月1日になると、日本のプロ野球チームは、国内各所で一斉に春季キャンプに入ります。まさに「準備」のとき。毎日のトレーニングや練習メニューをこなしながら、けがをせずにシーズンを乗り切るための体づくりに向けて汗を流します。もうすぐ引退を控えたベテランも、入団したばかりの新人も、春の開幕に向けて、みんな一からのスタートです。開幕時に一軍に残れるか、レギュラーとして定着できるか等々、選手一人一人の課題は違っても、チームみんなで一つの目標に向かって準備していくその姿は、なぜか、とてもすがすがしく見えます。開幕に向けて必死に取り組む選手の様子が、キャンプ情報としてスポーツニュースで流れるようになると、「ああ、もうすぐ春だな」と勝手にワクワクしてきます。



さて、猿橋小学校では、先日、1年生と2年生がグラウンドで雪遊びをして楽しみました。グラウンドの隅の小さな山は、そりの山に大変身。楽しそうな歓声が聞こえてきました。また、4年生は、二ノックススキー場でのスキー教室に参加してきました。風邪の流行なども心配しましたが、みんなで元気に行って来ることができて本当によかったです。たくさんのボランティアの皆様からもご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

さて、この時期、全校にかかわる行事と言えば「六年生を送る会」になるでしょう。これまで全校をリードしてくれた6年生にどんな形で感謝の気持ちを伝えるか、各学年でアイデアを凝らして準備や練習を重ねていくのがこれからの時期の大きな柱になります。リードするのは5年生。全校を動かしながら、5年生が最も大きく伸びる時期でもあります。



1月に入り、各教室からは、「大空が迎える朝」という歌がさわやかに聞こえてきます。1～5年生が6年生の卒業を祝って歌う曲です。今年度は、全校を代表して4・5年生が卒業式に参加してお祝いする予定です。

学校では、この冬の期間こそ、来るべき新年度に向けての「準備」のとき。学年のまとめにしっかりと取り組んで、すぐそこまで来ている春に向かって力を蓄えていきたいと思えます。